広報 はちまんたい Jan.2021 No.307

キラリ輝人（ひかりびと）90

砲丸投げと相撲の二刀流で高みを見据える

県新人大会1年男子砲丸投げ 県中学校新記録打ち立て優勝

工藤 琉誠 さん

くどう・りゅうせい　13歳　＝西根一中＝

平成19年生まれ。両親と兄妹と暮らす。大更小1年時に兄と一緒に相撲を始める。中学では相撲部と特設陸上部に所属し、学校が終わった後も寺田道場で相撲の稽古に励む。好きな食べ物はカレー、かつ丼、醤油ラーメン。身長165㌢、体重75㌔。O型。

10月17日に県営運動公園陸上競技場で開かれた県中学校新人大会陸上競技1年男子砲丸投げ（4㌔）に出場した工藤琉誠さん。従来の県記録を23㌢更新する9㍍10を投げ、優勝を決めた。「練習の成果を出し、優勝できてうれしかった」と笑みを浮かべる。砲丸投げの大会に参加したのは初めてで、練習期間も1カ月と短い中で結果を残した。

好記録を生んだ土台には、小学校1年生から始め、現在も熱中していると語る「相撲」があった。相撲の実績は抜群で、6年生時には第10回白鵬杯世界少年相撲大会での寺田道場団体戦優勝に貢献。相撲に集中できると一中に進学後も、県新人大会で団体優勝、軽量級1位、無差別級2位と活躍は著しい。

そんな工藤さんが砲丸投げを始めたきっかけは体育の授業。9㍍近くを投げたところ、佐藤聡哉先生から大会出場してみないかと誘いを受けた。それから

スムーズな重心移動から、最後は利き腕の左手で砲丸を押し出す（連続写真合成）

は陸上競技経験のある澤口祥太先生を加えた3人で昼休みに練習を重ね、記録を伸ばしている。

砲丸投げと相撲は共通点が多い。「砲丸の投げ方は相撲の突き出しと動きが似ている。どちらも瞬発力や力を振り絞るバランスが必要なので、互いの練習が互いの競技のプラスになっている」と当分の間は二刀流を貫く。全国中学校大会は競技を掛け持ちしての出場ができないため、最も好きな相撲での出場となるが「砲丸投げも目指すは県ナンバーワン」と目標は高い。

どちらも豪快な投げで勝負を決めるべく、技術やパワーを身に付け、さらなる飛躍を期する。

■編集後記

▽税務署の申告書作成会場では混雑緩和のため、今年からラインで事前に入場整理券を配布するとのこと。事前の予約や注文など同様のサービスを導入している店舗では機会損失やオペレーションの軽減に、客は待ち時間の解消に。双方にメリットあるこんなサービス、もっと広がってほしいです。（多）

▽平舘青商会のイルミネーション点灯式を取材、すごくきれいでした。うれしく感じたのは「こんな今だからこそ地域を元気づけたい、地元を盛り上げたい」という熱い気持ちを持つ皆さんの存在。地域のために、誰かのために行動を続けるみなさん。とても輝いていると思います。（吾）

【広　告】

コミュニティバス「にしね眼科」バス停すぐ
薬のプロフェッショナルがあなたのご相談を承ります
漢方のあさひ薬局　西根中学校前店
公認スポーツファーマシスト
国際中医専門相談員
認定実務実習指導薬剤師
薬剤師　斎藤貴将
八幡平市大更24-1-118（西根中学校前）　TEL.0195-70-2311

※広報はちまんたい1月7日号（№307）の印刷経費は1部71.5円、発行部数は10,080部です。経費の一部は広告料で賄われています。広告掲載については、㈱総合広告社（☎019-626-3370）まで。

令和3年1月7日発行
〒028-7397岩手県八幡平市野駄第21地割170番地
■ホームページ　https://www.city.hachimantai.lg.jp
■発行　岩手県八幡平市　■編集　企画財政課
☎0195-74-2111　FAX0195-74-2102
■印刷　川口印刷工業株式会社

ミックス　責任ある木質資源を使用した紙　FSC® C023138